



信太の森ニュース

No. 36
2020年4月1日

文責 田丸八郎



落ち葉のクッションへジャンプ：多くの子もたちに楽しんで貰いました

春に近さを告げる風物詩の一つにフキノトウがあります。信太山丘陵にもそれがおり、毎年フキ味噌を作って春の味を楽しんでいます。

フキノトウより早いのがニホンアカガエルの産卵。今シーズンは暖冬で10日ほど早い1月30日に産卵がはじまりました。

2月下旬には惣ヶ池湿地がある谷筋で200個以上の卵塊が確認されました。一つの卵塊に200～300個の命があるとすれば4万～6万の命が生まれることとなります。

ニホンアカガエルの産卵は、寒さで縮まっている私たちの心に何か温かさを与えてくれて春の近さを教えてくれる風物詩です。

春を告げるものにウグイスの初音があります。信太山丘陵では例年2月下旬がその時期ですが、今年はこれまでの記録を破り2月10日に初音が聴かれました。

春を待ちわびるこの時期、私たちに震撼とさせているのが新型コロナウイルスの感染拡大です。

新型コロナウイルスの感染者は世界的に拡がり、50万人を超え、死者数も2万人を超える状況です。感染を防ぐために様々な行事や催しが中止、延期におい込まれ、経済活動ばかりか日常生活に多大な影響が出ているところです。一日も早い収束が望まれるところですが、そのことを念頭に私たちも行動したいものです。

NPO法人 信太の森FANクラブ
事務局：〒594-0013 大阪府和泉市鶴山台3丁目4番1-202
電話 0725-45-7357 090-1225-9159
E-mail tamahati@amber.plala.or.jp

公園協議会の動きと活動

公園協議会の1月、2月の活動は里山講座と並行して草刈の保全活動が行われました。

しかし、3月の活動は、新型コロナウイルスの関係で2月23日に開催予定であった公園協議会とトラスト協会との合同観察会も含めて中止されることになりました。

その間にお行われた運営会議では、管理棟の位置、機能、管理棟以外のトイレの設置などについて話し合われていますが、管理棟に丘陵を展望できる展望台を作るとか、管理棟以外のトイレについては「設置するが水が引けないので、泡で洗浄する汲み取り方式のトイレにする」方向で設置。正式開園までの間は簡易トイレ（リース）を設置する方向で考えられています。

「基本構想」では令和6年に一部開園となっていますが、それより前に「暫定開園」という話も出ています。正式一部開園に向けて工事などが進められている中で、利用者の安全管理をどうするのかなど十分議論する必要があります。

今年度2回目の環境教育授業

2月17日、今年度2回目の環境教育授業を2月14日に実施しました。実施したのは鶴山台南小学校3年生の42名を対象に信太山丘陵市有地と惣ヶ池湿地、惣ヶ池周辺を案内しました。

これにはFANクラブ会員10名の協力を得て実施することができました。

鶴山台南小学校については、昨年春に環境教育授業実施について提案していたのですが、正月休み明け早々「信太山丘陵を案内して欲しい」と学校から電話があり、実施することにしました。

真冬のこの時期は観察対象が少ないことから一瞬返答に詰まったものの、この時期なら

ではの観察対象として「ニホンアカガエルの産卵」があることを思い出し、引き受けることにしました。

事前準備として、観察対象を探すための下見を行った上で指導担当者の現地リハーサルを実施して当日に臨みました。

当日は、ニホンアカガエルの卵塊に直接触れて貰うために惣ヶ池湿地の南広場にプランタを用意し、それにニホンアカガエルの卵塊とメダカを入れて直接手で触れて貰ったり、広場につくった「落ち葉クッション」を楽しんで貰ったりしました。

木々の冬芽の話、ヨモギの話、ドングリ、松ぼっくりの話のほか、公園作りをしている話などを子どもたちに伝えることができました。

終了後、子どもたちに課外授業に関する感想を書いて貰うようアンケート用紙を渡して2回目の環境教育授業は終了しました。

学校から戻ってきた子どもたちのアンケートを見ると、7割以上の子どもが「信太山丘陵の自然」を自慢できるとし、感想文には「信太山丘陵にまた行ってみたい。」と書いた子どもが13名もいました。



子どもたちの感想は

Aさん

コモウセンゴケがどうやてえいようをとっているのかを聞いたとき、とてもきもちわるいとおもったけどくわしく聞いたら自分だつてぶたの肉をたべるのと同じなのが分かって人げんと一しょでコモウセンゴケも自分のえいようをとるためだと思いました。とてもた

のしかったです。

Bくん

カエルのたまごをはじめてさわってゼリーみたいでした。あとひろいところに公園をつくるときいたのしみです。たまごをさわれてうれしかったです。草原のおとをきけてよかったです。自然を守る話が一番心にのこりました。ほくは、しぜんがいろいろみれてうれしかったです。

Cさん

花や植物とかいろいろしれてよかったです。じまんできるところはしぜんのがじまんできました！また公園づくりのお手（つ）だいにいきたいです<笑顔マーク>昔は信太山きゅうりょうは海だなんておもいませんでした！でもきかいがあれば、もういちど中に入ってまだみてない花やしよくぶつがあるのでみてみたいです！

鳥が騒ぐ日

廣石雅信

信太山に近づくと、なんかざわざわした感じがする。信太山に一步入るとメジロの群れやシジュウカラの群れが激しく鳴きながら飛び回っている。1年に1、2度、鳥がやたら騒ぐ日がある。2020年1月25日。ああ今日がその日かもなと思う。信太山の鳥全体がざわつく日。そんな日はたいてい鳥がすぐ近くに姿を見せてくれ写真を撮らせてくれる。今日もそうだろうかと期待する。

まずコゲラが現れた。木をつつくのではなくハゼの実に食いついている。



次はヤマガラだ。



そしてカワラヒワが。



やっぱり今日がその日だったんだと思う。次は何かと待っているとエナガがやって来た。



その次は



幸せを呼ぶというルリビタキの雄が目の前にとまった。これで信太山に今いそうな鳥は出尽くしたかなと思っていると、最後になんと

猛禽類のノスリが現れた。



いっぱい鳥に出会えて幸せだなと思う。

なんか僕の知らない理由があるんだろうけど、年に1, 2度信太山の鳥が騒ぐ日があり、その日には鳥がたくさん姿を見せてくれるんだというのは、今回もやっぱりそうだった。

落葉のクッション

惣ヶ池湿地の周囲は、コナラやアベマキ、クヌギといった落葉広葉樹に囲まれています。

湿地の南側の広場は、12月になるとそれらの落ち葉がたくさん降り積もります。広場に降り積った落葉は最終的には一定場所に積み置き、カブトムシの産卵場に使っているのですが、この落ち葉を積み置き場に移す前にかき集めて、落ち葉クッション(1面・写真)を作りました。

落葉を熊手でかき集め、大きな枝を取り除き、落葉に飛びこんで、小枝で怪我をしないよう、ブルーシートを被せました。

この「落ち葉のクッション」は、鶴山台南小学校の課外授業やその他の観察会で訪れた多くの子どもたちに楽しんで貰いました。期間限定ながら、「落ち葉クッション」を楽しんでいた子供たちの明るい笑顔が素敵でした。

惣ヶ池湿地：来年度木道延長

昨年、公益財団法人大阪コミュニティ財団による「和泉市水仙基金」の助成を受けて惣ヶ池湿地の一部に木道を設置したところで

すが、次年度の助成について申請していたところ、先日支給決定通知が届きました。

助成金目録授与式が4月14日に大阪商工会議所で行われます。

下図赤線部に木道を設置する予定です。



惣ヶ池湿地の植物。一口メモ ミゾソバ

惣ヶ池湿地に沢山あるミゾソバは薬草の一つで、リュウマチに対して薬効があるそうです。花にはフラボノイド・クエルセチン配糖体のクエルチトリン、ペルシカリン等が含まれ、ドクダミの葉にも含まれているクエルチトリンは、利尿作用もあるそうです。

生の茎・葉をもんで、その汁を切り傷に。

食用には、新芽や柔らかい葉を塩を入れた熱湯で茹でて、水に浸してアク抜きをしてから、おひたし、ごまあえ、佃煮、油いためにしても食べるといい。

2020年度 総会のお知らせ

5月17日(日) 10:00~

*3月末で国内の新型コロナウイルス感染者が拡大しており、見通しが立ちません。4月末に総会資料を送付する時点で実施・延期を判断するつもりです。